



JIA 神奈川

公益社団法人 日本建築家協会



J I A K a n a g a w a
The Japan Institute of Architects

日本建築家協会（JIA）は建築家が集う公益社団法人です。プロフェッショナルとしての知恵と技術を活かし、地域文化、風土、地球環境までをデザインする建築家が多く在籍しています。私たちは、建築・まちづくりを通して社会貢献を続けています。

公益社団法人 日本建築家協会 JIA 神奈川の主な活動

かながわ建築祭

このイベントは、普段目に触れることが少ない建築家の活動を広く市民の皆さまに知っていただき、建築が単なる生産活動の結果ではなく、社会、文化を発展させる上で不可欠な役割を担っていること、建築家という職能が一級建築士としての狭義の設計活動に留まることなく社会の仕組みづくりやまちの魅力づくりに深くコミットしていることを認識していただく絶好の機会



と位置づけています。ぜひ多くの市民の皆さまにご来場、ご参加いただき、建築の魅力、建築の多様性に触れてもらい、これからの社会をより良い未来にするために一緒に考える機会にさせていただきたいと願っております。



デザインアワード

建築、インテリア、プロダクト、まちづくり、地域計画、専門分野の研究、教育、さまざまなボランティア活動など、分野や内容の区別なく秀でた業績、活動を顕彰するために制定したアワードです。審査する建築家と応募した建築家との公開ディスカッションは、現代の建築を考える上で世代を超えて、貴重な“場”となっています。



学生卒業設計コンクール

神奈川県内の建築系大学、専門学校の卒業設計コンクールとして1989年に始まり、すっかり恒例のイベントとして定着してきました。今までは学内を会場として開催されてきたため、事実上関係者に限定されたイベントでした。2011年からは市民にも広く公開し、目に触れるコンクールにすることで、建築教育のすばらしさ、楽しさを多くの人に理解していただき、建築教育の普及を目指します。学生達の意気込みにも変化が現れています。



茶室デザインコンペディション



2帖の茶室『一番小さな交流のかたち』をテーマに全国からデザインを公募、厳正な審査の結果、選ばれた優秀作品3点を馬車道駅構内にて実際に製作展示し、公開審査まで行う建築祭の名物イベントです。



CROSS × CROSS パーティ・交流イベント

JIA 神奈川の正会員や協力会員はもちろん、一般来場者のかたや学生さん、来賓の皆様や多彩なゲストを迎えたパーティや他会との合同交流イベントなどを催しています。CROSS × CROSS パーティでは手作りのおもてなし料理や地元横浜にゆかりのあるお店や企業からの協賛の品に舌鼓をうちながら、ささやかながらも贅沢なひとときが味わえます。



各種展示

近代建築展、復興橋梁展などの保存はもちろん、各種制作物や、事例紹介など、イベントに合わせた展示を行っています。丁寧な説明と大きな画像によって、市民にも分かりやすい見せ方を心がけています。



建築フォーラム

産官学に市民を加え、各分野の専門性をいかしながら現代建築のトピックを共有するイベントとして2017年度から『JIA 神奈川建築フォーラム』を立ち上げました。都市木造、環境デザインなどフレッシュなテーマを題材に様々な角度から現代建築を取り巻く問題を深く掘り下げます。シンポジウム、展示会を主体に市民にもより分かりやすく伝えることを目指しています。



まちづくりと保存

1. 消失危機にある文化的建築物の情報収集
2. 見学会・まちあるきの企画
3. まちのアイデンティティ、らしさの探求と提案
4. 保存要望書の提出
5. 自治体設計コンペ開催協力などの活動を行っています。



シンポジウム・セミナー・講演会・見学会

建築祭を中心にして、多くのシンポジウムやセミナー、講演会を開催しています。シンポジウムでは、著名建築家だけでなく、若手建築家や他分野からのスペシャリストを招き、常に新しいトークセッションを展開しています。また、土地建物や耐震性、権利や契約書の書き方に至るまで、多種多様なセミナーや講演会も、毎回ご好評をいただいております。



子ども空間ワークショップ

21世紀の国づくりの中心を担う子どもたちへ向けた様々な活動を行っています。神奈川県産材の間伐材による180cmと90cmの2本の角材とジャンボ輪ゴムだけを使い、7～8人のグループで協力し合って家を組上げます。遊びを通して、造形や力学、環境やまち並み、協調性やもの造りの楽しさを学ぶことを目的としたワークショップです。日頃は、学校、PTA、学童保育等の依頼により行う一方で、年に数回の公開イベント形式での開催も行っています。



建築相談

20数年来、社会貢献活動の一環として、住まいづくり、住まい選びをお考えの皆様、お悩みを抱えている方々に無料相談を実施してまいりました。地域社会の建築文化活動として広く認められ、神奈川相談室では2019年に46件の相談を受けており、東京の首都圏相談室について、全国第二位の件数となっております。最近ではリフォーム事案でのトラブル相談が増加する傾向にあり、全相談件数の約過半数をしめるまでになり、今後の課題となっております。また、広報活動の一環として、多くのセミナーを企画しております。地域に根ざした建築家集団として、市民とともに建築、まちづくりを考え、豊で幸せな生活を支えていきたいと考えております。



2022年度 JIA 関東甲信越支部神奈川地域会第11代代表に任命されました柳澤潤と申します。

小泉雅生前代表から引き継ぎ、この度代表に就任致しました。皆様どうか宜しくご指導ください。

私は一人の建築家として出来ることは何か、を常に自問自答しています。何故なら建築家とは何か、という問いに答えられる自信がないからです。

1992年建築学科を卒業し、アトリエ事務所に通って就職し、公共建築など担当させていただき、そして2000年、自身でアトリエを設立し、初めて住宅を受注しました。あれから22年、今横浜に事務所を構え、事務所と現場、更には大学を往復しながら、悪戦苦闘の毎日です。多くの建築家の方が私と同様に忙殺された日々をお過ごしかと推測しています。正直、JIA 地域会の代表となる方は、そうした一線の仕事から引いた、余裕のある方がなるのかとばかり思っていました。ところが JIA 神奈川地域会は違っていました。前々代表の飯田さんしかり、小泉さんしかり、建築家として最も多忙な時期に、その役割を全うされており、尊敬しかありません。今の自身の多忙さを考えると代表などという恐れ多い役職を拝命いただいたことは光栄であると同時に大変困惑している、というのが正直なところです。それでも今回代表をお受けしたには理由があります。そのことを少しお話しさせていただきます。

私にとって、11年前に起こった東日本大震災は自身がようやく建築家と呼べるような仕事が出来ようになってからの初めて自身の身近に降りかかってきた大災害です。1995年の阪神・淡路大震災、2001年のニューヨーク同時多発テロ、2016年熊本地震など、2000年以降に起こった自然災害、人的災害は枚挙に暇がありません。そんな中2013年に建築家の伊東豊雄さんからの声掛けにより、南相馬市鹿島町に小さなこどものための遊び場「南相馬みんなの遊び場」を設計させていただく機会をいただきました。

この建物はインドアの砂場です。200㎡程度の延べ床の施設ですが、当時、鹿島町では放射線の被害が大きく、子供たちはほとんど外で遊ぶことが出来ず、室内で過ごすしかありません。カルチャーコンビニエンスクラブ(C.C.C)という民間企業が「こどもの砂場」を作りましよう、と地域の方々の呼びかけにに応じ、多くの企業からのサポートを募り、南相馬市の協力も経て、この建築は2016年に建ちました。民設公営という実験的な運動方法によって現在も健全に営まれています。私はこの建築のありかたにかすかな希望を見出しています。出資者が必要な資金を集め、設計者が真摯に地域の方々の希望と出資者の意図を汲み設計する。また施工者もそれに応え、持ちうる技術の全てを尽くして完成させる。そしてその竣工をまちを挙げて祝う。この一連の流れは私が建築を志してから、頭ではわかっている、実は実現したことのない清々しい出来事でした。そして、その時に初めて自身が建築家である、とはっきりと思えたのです。私は JIA (日本建築家協会) という専門家集団に所属してはいますが、この時の清々しい気持ちを会員、

準会員の皆さん、協力会の皆さんと共有したいと思います。

そのために私が考えるのは「まちとともに考える建築家像」です。前代表の小泉さんはサステナビリティをテーマとして4年間、建築家の役割と社会とのつながりを建築を取り巻く様々な環境を通して模索し、提案して参りました。

戦後「環境」は建築業界に留まらず、全世界的な大きなテーマになり、特にこの20年は多様になりました。もう一つ大きなテーマは「防災」です。2011年3月11日、未曾有の大災害が東北地方一帯を襲いました。あれから11年、建築を取り巻く環境はどれほど変わったでしょうか？東北、特に湾岸地帯では安全、安心のスローガンを掲げ、防潮堤や人工地盤をかさ上げし、自然災害から改めて人工の力によって再生を図ろうと試みてきました。その結果、美しかった海岸線はどうなったでしょうか、小さな集落で営まれてきたコミュニティはどうなったのでしょうか？そうこうしている間に、世界では2030年、2050年という近未来に向けてSDGsというまさに多様なサステナビリティを模索した上で、カーボンニュートラル、という大上段に構えた目標を掲げています。私たち専門家集団は当然これに応えるべきです。が、ここに掲げられた17の目標は個人で達成できるようなことから、大企業でないに徹底変えられないことまで規模も様式も様々で、とりつくしまがないかもしれません。このことがある意味社会に均一な状況を醸してはいないのでしょうか？

私はこう思います。まず建築家はまちづくりに関わる宣言をし、一人一人がまちのタウンアーキテクトとして積極的な活動を起こしてみようだろうか、と。その上で自身の創造力を尽くして、最良の環境を整えなければならない、最良の風景を提供しなければならない。その際に忘れてならないのは建築は自然の一部であり、同時にまちのシンボルでもあるのだと。

まちを楽しくする建築、まちを美しく整える建築、自然と呼応する建築、そしてまちを支える建築家を目指したいと思います。この声に賛同していただける仲間をこれからの4年間で増やしたい、そして JIA 地域会の活動がいわゆる一般の市民の方により理解いただけるような活動を目指したいと思います。

JIA 神奈川地域会第11代代表 柳澤 潤



横浜近代建築

～関内・関外の歴史的建造物～

好評発売中

横浜の開港の歴史を色濃く残す、関内関外エリアの近代建築をJIA神奈川地域会で調査、記録本を編集いたしました。巻頭のマップを見ながら街歩きができるようなガイドブックとしても活用できます。1500円+消費税、県内の有隣堂で購入できます。



公益社団法人 日本建築家協会
関東甲信越支部 神奈川地域会

〒231-0006 横浜市中区南仲通4-43 馬車道大津ビル201
TEL: 045-663-2745 FAX: 045-663-2746 Mail: kanagawa@jia-kanto.org
www.jia-kanto.org/kanagawa

2022年度 役員構成 (敬称略・五十音順)

代表	柳澤 潤 (第11代)
副代表	井上 雅宏/田邊 雄之
幹事長	梶浦 暁
副幹事長	八板 晋太郎/伊藤 立平
幹事	井上 玄/岡田 勲/清水智津子 (総務補佐)
	佐屋 香織/田井 幹夫/高橋 隆博
	中村 高淑/藤沼 傑/山下 祐平 (総務委員長)
	山口 賢
監査	安田 博道/杉本 洋文
オブザーバー	黒田 和司/中澤 克秀 (広報委員長)
協力会会長	竹見 正一
相談役	室伏 次郎 (第6代 JIA 神奈川代表)
	青木恵美子 (第8代 JIA 神奈川代表)
	飯田 善彦 (第9代 JIA 神奈川代表)
	東條 隆郎 (元 JIA 本部副会長)
	小泉 雅生 (第10代 JIA 神奈川代表)
顧問	服部 範二 (第2代 JIA 神奈川代表)
	岩田 穰 (第3代 JIA 神奈川代表)
	金子 修司 (第4代 JIA 神奈川代表)
	山口洋一郎 (第5代 JIA 神奈川代表)

2022年度 JIA 神奈川法人協力会 役員

役職	法人名
会長	(株) ココロラボ
副会長	高島屋スペースクリエイツ (株)
	(株) キクシマ
幹事	(株) 神奈川ナブコ
	神島化学工業 (株)
	三協立山 (株) 三協アルミ社横浜支店
	(株) 総合資格 南関東本部
	DNライティング (株)
	TOTO (株) 横浜支社
	文化シャッター (株) 首都圏支店
	横浜エレベータ (株)
	(株) LIXIL 神奈川支社
相談役	星通商 (株)
	(株) 時久組
	石井造園 (株)